

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
旧年中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。

昨年2016年は4年に一度のオリンピックキヤー。そして、アメリカ大統領選挙の年でもありました。約10か月、予備選挙から本選挙まで各候補が論戦を繰り広げる様は、日本にはない注目の高さでした。

一方、日本でも選挙に関し大きな第一歩を踏み出しています。それは選挙権が十八歳に引き下げられたことです。テレビやラジオなどのメディアしかなかった時代と異なり、いまや政治家自らがSNS（ツイートやフェイスブック）で情報や考えを発信しています。特にSNSが得意な若い世代に向けたのですが、投票率には今一つ、つながらなかつたようです。

情報がたくさんあり過ぎて、自分が見たい、欲しい情報だけをピンポイントで探すというケースがとて多くなっているように思います。そのため、興味のないものはあまり目に留まることなく、そのまま過ぎ去ってしまう。選挙自体に興味がないと、たくさん情報が発信されていても目に留まらない。そんな理由があったのかもしれません。簡単に様々な情報が入手できるのに、逆に自分が見ているところがピンポイントになってしまっていないか？

あらためて考えた一年でした。
今年、酉年。木をみて森を見ず、にならぬよう飛ぶ鳥のように広い視野をもち、チャレンジしていきたいと考えています。
今年もご指導のほどよろしくお願いいたします。

平成二十九年一月

ラップ東京有限会社

代表取締役 池谷朝洋

空を自由に飛ぶ鳥は古代から人間を魅了してきました。

と、いってもダチョウやペンギンのように飛べない鳥もいます。飛ぶことをやめてしまったのか？最初か飛べなかったのか？どちらにしても、ダチョウは時速 70km 以上のスピードで走ることができ、ペンギンはその翼で海を自由に泳ぐことができます。

空を飛ばずとも、それぞれの世界で強くたくましく生きているのですね。

酉にまつわることわざ。

鶏群の一鶴

多くの凡人の中に、一人だけ抜きん出てすぐれた人がまじっていることのたとえ。「掃き溜めに鶴」、「鶴の一声」ということわざもありますね。

何かと鶴と比べられてしまう鶏です。

